

学校教育目標

「自ら考え 行動する 子どもの育成」

★確かな学力 ★豊かな心 ★健康・安全と体力

めざす子ども像

- 「自ら考え行動し、心豊かに 仲間とつながる子」
- ◎主体的に学習に取り組み、積極的に発表できる子
 - ◎読書に関心を持ち、知的好奇心が豊かな子
 - ◎相手を思いやり、自分を大切にする子
 - ◎規範意識・奉仕の精神・助け合う心の豊かな子
 - ◎元気に遊び、健康への意識が高い子

めざす教職員像

- 子どもの成長を信じ、温かくかかわりきる教職員
- 子どもの意欲を引き出し、自律を支援する教職員
- 指導力の向上に努める教職員
- 信頼される学校づくりに向け協働する教職員

研究テーマ

『仲間と学びを深め、読みとる力を伸ばし合う』

～主体的に粘り強く学び続ける姿をめざして～

確かな学力

子どもたち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として活躍することができるよう、人生や生活、そして社会をより豊かなものにするための資質・能力を育成します。

①授業改善の推進

- ・学習規律の系統性と「授業フレーム」の同一性
- ・基礎学力の定着
- ・タブレット端末・クラウドの積極的な活用
- ・「振り返り」「ペア学習」「小グループ学習」で発表する力の育成

②自立した学習者の育成

- ・「自学自習力」の育成
- ・「休日学習教室」の積極的参加
- ・学校図書館教育の充実→探求することへの喜びを感じる子の育成

③支援教育の充実

- ・配慮を要する児童に焦点を当てた授業の指導・工夫改善の研究体制づくり

豊かな心

子どもたちがありのままの自分を肯定的に認め、自分らしさを好きになれるよう、自己肯定感や自己抑制力など、子どもたちの豊かな人間性と社会性を育みます。

④人権教育の充実

- ・すべての教育活動に人権意識を前提とした展開。
- ・日本語指導が必要な児童へ支援
- ・多文化共生教育の推進

⑤道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳」の授業づくりの推進

⑥生徒指導、キャリア教育の充実

- ・夢や志をもって粘り強くチャレンジする姿勢の育成
- ・自他を尊重し、違いを認め合う意識の・態度の育成
- ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組みの徹底
- ・不登校児童への支援

健康安全と体力

子どもたちが自他をかけがえのない存在として大切にし、命を守る行動ができる力を、教育活動全体を通して培っていきます。

⑦健康・体力づくりの充実

- ・運動の楽しさや大切さを感じ、自ら進んで運動する子どもの育成(体育指導・体力づくりの充実)
- ・健康を保持し、増進する生活習慣づくり(早寝・早起き・朝ごはんの推進/食育の充実/休み時間に元気よく外で遊ぶ)

⑧安全・安心な環境づくりの推進

- ・自他の安全を守ることができる子どもも育成(避難訓練や保護者への引き渡し訓練など防災意識の向上/警察と連携した交通安全教室/安全安心な学校給食にするために給食指導の徹底)

学校力の向上

- ⑨チーム梶(組織)として学年グループ制による一体化した指導体制の充実
- ⑩義務教育9年間を見通した小中一貫教育の充実および幼小連携の推進
- ⑪教職員の資質向上・研修の充実
- ⑫学校運営協議会および地域人材・サポーターの活用